

単元まるごと計画「せかいの あいさつ」（全2時間）

単元のゴール（can-do）：世界にはさまざまな言語のあいさつがあることに気づき、いろいろなあいさつを交わすことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	世界のいろいろな言語のあいさつの言い方に慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	相手とつながるために、あいさつのことばを選んで伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	世界のことばのちがいやおもしろさに関心を持ち、すすんであいさつを交わそうとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全2時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	－	世界のあいさつと出会う（映像・カード）・あいさつマッチング	歌（Hello Song）	記録なし
2	－	あいさつリレー→世界一周あいさつの旅（パスポートラリー）	歌＋カードフラッシュ	◎ 行動観察＋振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌	—（Let's Try!付属音源）
5-12	あいさつカードで練習	せかいのあいさつカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

1. あいさつは4つでよい（8つ全部を全員に求めない。Hello+3つ言えれば十分）
2. あいさつリレー（活動1）は1周でよい
3. パスポートラリーの「国ブース」は4か所に減らしてよい

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ せかいのあいさつカード（提示用1部+ブース掲示用）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）+シート2（先生用・1部）
- ☐ ブースの目印（あいさつカードを教室の4〜8か所に貼る）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・発音の「正しさ」を求めない（カタカナ読みで堂々と。まねしようとする姿がゴール）
- ・声を出しにくい子は、その言語のジェスチャー（おじぎ・合掌など）だけであいさつが成立することを最初に見せる
- ・外国にルーツのある子がいる場合は、事前に本人と相談してから（その子の言語を扱うなら「先生役」として輝ける場に。無断で注目を集めない）

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・3年 Unit 1 の再訪であることを子どもに気づかせると「知ってる！」から始められる（アンニョンハセヨ、まだ言える？）
- ・「国とことばは1対1ではない」は、さらっと1回言うだけでよい（英語はアメリカだけのことばじゃない。深追いは中学の仕事）
- ・あいさつ+おじぎ・合掌などの体の動きをセットにすると、文化のちがいが体感になる
- ・◎見取りは第2時のラリーで「自分から声をかけているか」。あいさつの数の多さは評価しない